

みどり 水土里ネット広報

〒879-6115
大分県竹田市荻町馬場426番地1
荻柏原土地改良区
TEL 0974-68-2238
FAX 0974-68-2239
http://www.midorinet-ogi.com

No.59

ご挨拶

寒中お見舞い申し上げます。

皆様にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、国営大野川上流農業水利事業の第3回計画変更の手續きにあたり、大変お世話になりました。組合員皆様の事業へのご理解、関係各位のご尽力のおかげを持ちまして計画変更の手續きは完了しました。誠にありがとうございました。今後は大蘇ダムの浸透抑制対策工事も進み、附帯する県営事業も昨年度から荻3期地区が採択され、より一層の農業振興に期待が持たれます。今後も事業推進についてご協力の程お願い致します。

昨今の農業を取り巻く情勢は厳しいものがありますが、当地域の農業については、国、県の整備事業とあわせて、農林業の構造改革も進めていただいております。「儲かる農業」を合言葉に関係機関の方には事業推進、農業支援、新規就農者の確保、後継者の育成等にご尽力いただき、また改良区の運営については組合員の皆様に支えられております。当改良区も皆様と連携し地域農業発展のために、役職員一丸となって努めてまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願いしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

平成29年1月

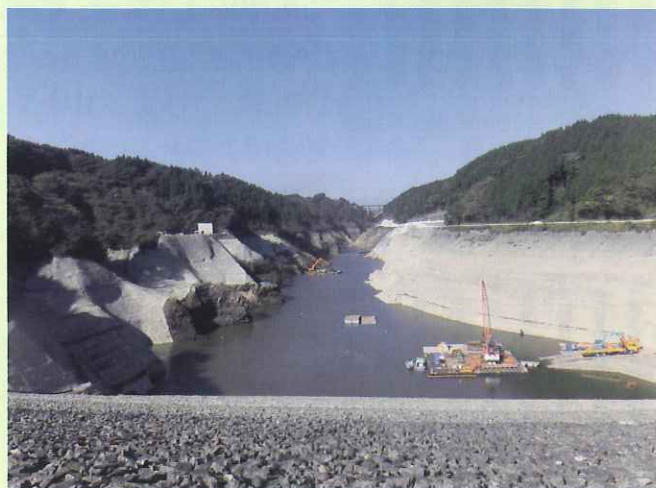
荻柏原土地改良区 理事長 佐藤 慶一

大野川上流農業水利事業について

大蘇ダムの浸透抑制対策工事が進む国営事業は、昨年9月に計画変更の手續きが完了しました。

平成28年度は、夏から秋にかけて、重機を載せた台船を使用して法面整形を行い、コンクリート吹付等が施工されました。今後も、引き続き対策工事を進めるため、現在、大蘇ダムは落水しています。

堤体から貯水池を望む



撮影日：平成28年11月5日 貯水位647m



撮影日：平成28年12月3日 貯水位647m

県営事業について

県営中山間地域総合整備事業

県営中山間地域総合整備事業は荻1期地区が平成27年度に事業費約20億円で完了致しました。平成28年度においては荻2期地区(平成28年度完了予定:事業費約13億円)荻3期地区(平成27年度採択:事業費約32億円)が事業実施中であり大蘇ダムから導水する農業用水を国営のパイプライン管路、ファームポンドより各圃場へ送水するためパイプライン整備等行っております。

荻2期地区については平成28年度が最終年度であり、給水栓の設置工事及び末端散水施設資材導入等行っております。また、管路を入れた道路の舗装復旧も併せて工事を行っております。

荻3期地区については、現在測量、設計等を行っております。今後は、国、県、市と調整しながら、工事を進めて参ります。

県営農業水利施設保全合理化事業

平成28年度は12月現在で総事業費約30,000千円(改良区負担約1,500千円)で第二支線水路トンネル吹付工事、第二支線蓋かけ、政所支線蓋かけ工事を行いました。

平成29年度は総事業費約150,000千円(改良区負担7,500千円)で幹線水路の表面被覆工事を行う予定となっております。工事は非かんがい期に行う予定ですが、断水等も必要となります。

断水等につきましては水路取締人と協議をして、回覧等にてお知らせを致しますので、ご理解とご協力をお願いします。



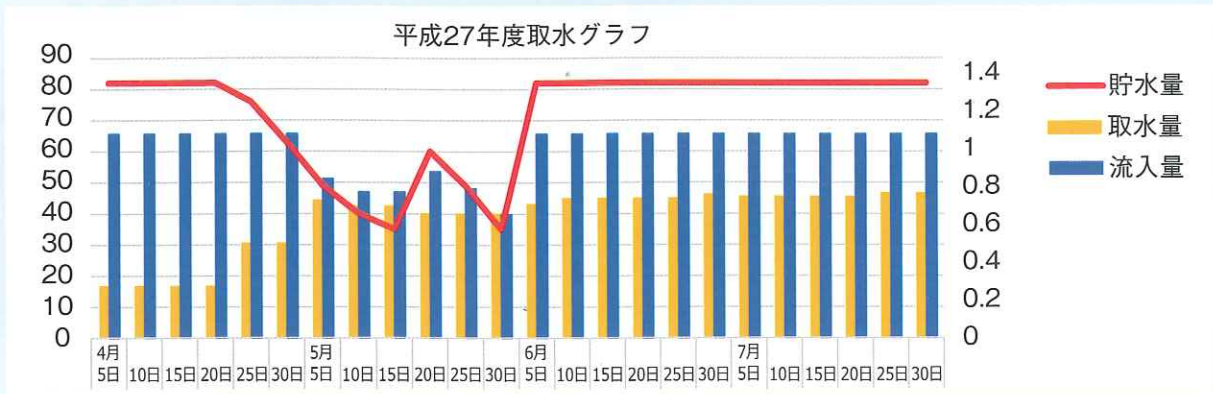
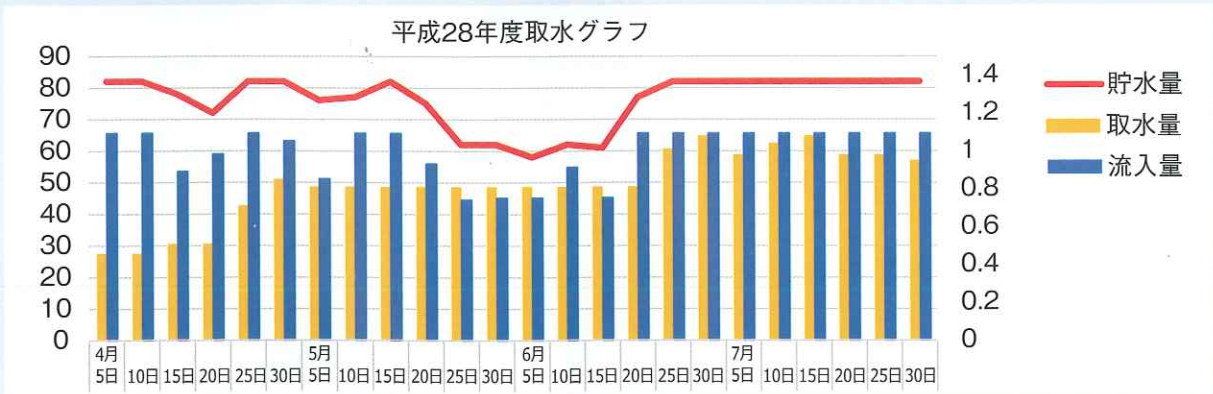
第二支線水路トンネル(吹付完了)



第二支線水路トンネル(吹付状況)

平成28年度通水について

平成28年度は比較的雨量が多く、平年では5月時点で大谷ダムの貯水率は約30%まで下がりますが、本年度は貯水率が最低で70%でした。その為、平成28年度は長期間で増水をした水量を取水しています。



● 社会科見学・出前授業の実施

子どもたちに荻町の歴史や農業農村、水利施設における多面的機能を伝える啓発活動を毎年行っています。荻小学校4年生を対象に10月に史談会の永田修二さんより地域の歴史について出前授業を行っていただき、11月に大谷ダムと第一幹線隧道内の見学を行いました。12月には緑ヶ丘中学校全校生徒を対象に大野川上流開発事業事務所の加藤所長に農業農村の多面的機能や農業を守るために子どもたちができる事について出前授業を行っていただきました。出前授業、施設見学を行う中で水路建設等についての質問や農業に対する感想等が飛び交いました。



荻小学校4年生大谷ダム見学のようす



緑ヶ丘中学校出前授業のようす

● ふるさと祭り展示会

啓発活動の一環として、平成18年度より毎年11月3日開催の荻町ふるさと祭りで荻柏原土地改良区に関する展示をしております。今年は、広報誌や社会科見学等の写真の展示に加え、パンフレットや水位計等の展示を行いました。また、県営事業実施中である事から、畑かん用ロールカーの展示を行い町内外の方に観覧していただきました。来年も展示予定ですので、お越しいただければ幸いです。



● 全国土地改良大会参加

10月25日に石川県で開催された、全国土地改良大会に参加しました。第39回となるこの大会は農業農村整備に携わる全国の関係者が参集し、新たな農業展開を図ると共に食料自給率の向上、食料の安定供給の確保の必要性を訴えていくものであり、全国から集まった総勢4,000名を超える関係者が農業農村の重要性や土地改良の意義をアピールしました。

大会では、功績者表彰や北陸の優良地区紹介が行われたほか、農林水産省からも石川の土地改良の歴史や、これからの土地改良の展開方向の紹介が行われました。



● 県知事への鏡餅進呈



12月28日に広瀬大分県知事、田中大分県議会議長、大分県土地改良事業団体連合会義経会長らに、地域でとれたもち米で作った鏡餅を進呈しました。

大野川上流開発事業で圃場整備を行った、昭和61年から事業を実施し、地域発展の為にご尽力をいただいている県に感謝の意を捧げるもので、今年で31年目となりました。

今回は佐藤理事長、小出1番理事と共に地元選出の土居昌弘県議会議員、地域代表者として田平礼子さん、向井隆二さん、岸本朋子さん、蓑田結城さんに同行してもらい地域の現状について、知事とお話をいただきました。

荻柏原土地改良区からのお願い

平成29年1月16日現在、大谷ダム貯水率は100%となっております。大谷ダム貯水のため本年度も例年通り交互の配水を行っており水量が大幅に減っております。かんがい期でない時期に、主に幹線、支線に刈草や残飯等のゴミを流すとゴミ詰まりで災害等が起こりうる可能性もあります。水路は農業用水を流す大切な水路です。

水路へのゴミの投げ入れ等は決して行わないようお願い致します。

お知らせ

組合員資格得喪失通知書(異動届)及び地区除外申請の提出について

下記要件が発生した場合は、法務局や農業委員会への手続きだけでは土地改良区の台帳は変わりませんので、速やかに資格得喪失の手続きをお願いいたします。

- ・組合員が死亡(相続)された場合
- ・組合員が住所、氏名等を変更された場合
- ・組合員が農地を喪失または、取得(譲与、売買、競売、異動など)された場合
- ・農業者年金の受給による経営世帯主を交代した場合

また、農地転用や地区除外される場合は改良区への申請手続きと決済金が必要になります。これらの手続きを行わないと台帳から除外できず、従来通りの賦課金が賦課されますので、ご注意ください。

※決済金は残存農地が将来過重負担にならないために必要なもので、市街化区域及び現況証明の農地転用や、公共事業用地に買収及び寄付される場合にも必要となります。